

令和5年度 第1回学校運営協議会兼コンソーシアム役員会議事録

1 日 時 令和5年6月23日(金) 17:30~18:50

2 会 場 松江北高等学校 会議室

3 全体協議

(1) 学校運営協議会・コンソーシアムについて〔資料により学校長が説明〕

(2) 役員選出

以下の役員を選出

学校運営協議会 会長 肥後 功一 副会長 木村 直樹

コンソーシアム役員会 会長 肥後 功一 副会長 泉 雄二郎

副会長 木原 和典

《学校運営協議会》

(3) 令和4年度学校評価について〔資料により教頭石飛が説明〕

(4) 令和5年度教育目標・教育方針・グランドデザイン等について〔資料により学校長が説明〕

○「育てる生徒像」について評価の指標が必要

⇒R4年度より学校評価アンケートの内容をグランドデザイン「育てる生徒像」の4項目に沿ったものに変更した。R4年度の結果をもとに目標値を設定して達成を目指す。また、各学期末に生徒一人一人振り返りについて「育てる生徒像」に基づく項目でループリックによる自己評価を実施している。

(3)(4)の内容について承認【運営協議会要綱第10条】

《魅力化コンソーシアム》

(5) 令和5年度コンソーシアムの部会について〔資料により教頭石飛が説明〕

○「キャリア教育」は職業選択だけのものではなく、将来役に立つスキルを磨いたり、自分の強みが何かを発見したりするものである必要がある。

○「探究・研究」で培った力がキャリア形成に資するようになるのがよい。

(6) 令和5年度魅力化事業及び予算について〔資料により教頭石飛が説明〕

(5)(6)の内容について承認【コンソ規約第8条】

(7) 今年度の各部会における具体的な協働について〔資料により教頭石飛が説明〕

学校による説明 令和5年度2年生の総探の取組状況に関するもの(当日資料配付)

理数科教育関連についての報告(当日資料配付)

○普通科総探の個人探究の方向性はよいが、グループでの協働も取り入れながら進めるほうがよい。

○探究活動が教科の学習に資するような内容や方法を考えるべき。

○生徒・教職員が探究学習は通常の教科教育とはちがうという認識を持つ必要がある。

○外部の大人と接する機会をつくるために双松会、PTAをうまく活用すべきである。